

由良地区の景観

平成30年11月26日

1.由良地区の歴史 1
2.由良地区の概要 9

1.由良地区の歴史

- ① 由良地区は、由良川河口の西側、宮津市の東南部に位置し、若狭湾に面した海岸平地の集落である。
- ② 南の山は由良ヶ嶽栗田と由良の間の海岸を奈具海岸と称し、風光明媚な海岸が広がっている。
- ③ 山あいをゆったりと流れて海へと注ぐ由良川と、みかんの花咲く丘に抱かれた美しい砂浜を持ち、海水浴・釣り等のマリンスポーツが楽しめる。

【宮津市史 通史編（下巻）＜宮津市史編さん委員会2004＞より抜粋】



由良地区風景

(出典：心のふるさと丹後：坂根正喜写真集その1
〈あまのはしだて出版2001〉)



奈具海岸

(出典：京都府HP)



由良海岸

(出典：京都府HP)

1.由良地区の歴史(丹後由良海岸風景 昭和20年代)

- 前に白砂の海岸をひかえる景勝の地であり、夏季は海水浴場として知られている。旅館・民宿を経営するものも多く、駅の西方山麓に国民宿舎もある。

【丹後由良 四方寿朗写真集〈あまのはしだて出版2003〉より抜粋】



由良海岸（写真奥：由良川橋梁）【昭和29年】

（出典：丹後由良 四方寿朗写真集〈あまのはしだて出版2003〉）

1.由良地区の歴史(由良川河口風景 昭和50年代)

- 由良川河口。左岸（写真手前）が宮津市、右岸（写真奥）が舞鶴市。
- 由良川橋梁が兩岸を跨いでいる。

【丹後由良 四方寿朗写真集〈あまのはしだて出版2003〉より抜粋】



由良海岸と由良川橋梁【昭和50年代】

（出典：丹後由良 四方寿朗写真集〈あまのはしだて出版2003〉）

1.由良地区の歴史(由良川橋梁 KTRからの由良地区の眺め)

- 由良川橋梁は、宮津市と舞鶴市の境、若狭湾に注ぐ一級河川・由良川の河口に架けられた鉄道橋。
- 鉄道橋梁として京都府最長を誇る橋長552mで、大正13年に竣工。25基のコンクリート橋脚の上をプレートガーダー桁が続き、鉄橋の軌道の高さは由良川水面から約6.4mである。

【丹後由良の史跡:由良の歴史年表<由良歴史年表編纂委員会2011>より抜粋】



架橋風景【大正13年】

(出典:丹後由良の史跡:由良の歴史年表<由良歴史年表編纂委員会2011>)



KTRからの由良地区の眺め

1.由良地区の歴史(丹後由良駅)

- 舞鶴と豊岡を結ぶ「京丹後鉄道(旧称:北近畿タンゴ鉄道)宮津線」は、鉄道省によって敷かれた旧国鉄・宮津線の前身である。
- 起点の西舞鶴から若狭湾を経て、丹後半島を抜けた「網野」までの区間が大正13年に開通。その後西へ延伸を重ね、昭和7年に西舞鶴～豊岡間が全通。
- 丹後由良駅へと続く桜並木があり、現在でも満開の桜が来訪者を楽しませている。

【丹後由良の史跡:由良の歴史年表<由良歴史年表編纂委員会2011>より抜粋】



丹後由良駅【昭和59年】



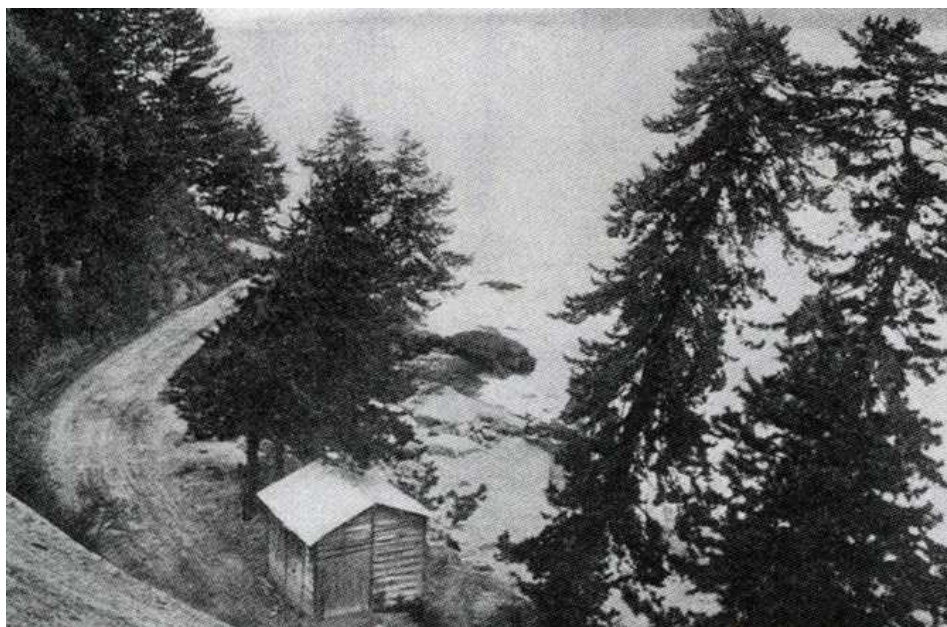
丹後由良駅前の桜【昭和59年】

(出典:丹後由良の史跡:由良の歴史年表<由良歴史年表編纂委員会2011>)

1.由良地区の歴史(国道178号の風景 奈具海岸)

- 由良から栗田・宮津へ走る国道178号線の海岸線が奈具海岸。海食崖が発達し、白い岩肌とその上に生える松とが美しい景観を形成している。
- 由良海岸～奈具海岸間の国道178号線は、安寿ロマン海道と呼ばれ、国道脇に展望用のスペースが数か所設置されている。

【宮津市HP・京都府 丹後広域振興局HPより抜粋】



開通まもない奈具海岸線【明治24年開通】



現在の様子

(出典:丹後由良の史跡:由良の歴史年表<由良歴史年表編纂委員会2011>)

1.由良地区の歴史(由良湊と北前船との繋がり)

- 田辺藩の設置した湊として、田辺湊 黒地湊 浦丹生湊 大波湊 由良湊の五湊があり、いずれも田辺湊（今の舞鶴港）を中心に仲継役を務めたが、由良湊は田辺藩が特に重要視した湊であった。
- 由良湊では荷物の上げ下ろしや積み替えが行われ、由良川水運によって上流域へと輸送された。また流域の物資は由良湊へと運ばれ、全国へと輸送された。
- 由良地区にも北前船の船主は存在し、その多くは縮緬や酒屋を営んでいた。

【北前船の寄港地として栄えた丹後由良（由良の歴史を探る会）より抜粋】



北前船が停泊する由良港（鉄橋未整備時）【大正初期】



帆かけ運搬船が停泊する由良港【大正初期】

（出典：丹後由良の史跡：由良の歴史年表<由良歴史年表編纂委員会2011>）

1.由良地区の歴史(北前船が由良にもたらした影響)

- 北前船がもたらした産業として、「由良塩」「由良石」「由良みかん」がある。
- 奈具海岸沿いで採掘された「由良石」は、神社の鳥居、墓石、石垣等に使用されている。
- 宮津城下有数の商家であった三上家は当時、酒造業・廻船業・糸問屋等を営んでおり、北前船を数多く所有していた。廻船業種の信頼が厚く、丹後の廻船業の一躍を担っていた。
【海の京都 特別展図録「大海原に夢を求めて -丹後の廻船と北前船-」より抜粋】



停泊する北前船

(出典：海の京都 特別展図録「大海原に夢を求めて -丹後の廻船と北前船-」〈2015〉)

(出典：北前船 江戸・明治の日本経済を支えた日本海沿岸航路)

(出典：北前船の寄港地として栄えた丹後由良)



旧三上家住宅・主屋

※主屋を含む8棟が国の重要文化財指定



安寿の里(旧宮津市立由良小学校)を囲む

由良石の石塀 (出典：google map)

2.由良地区の概要(都市計画区域)

- 宮津市は京都府において、都市計画区域に指定されている。
- 宮津市の都市計画では由良地区は東部地域に位置する。
- 天橋立周辺地域景観計画区域外である。

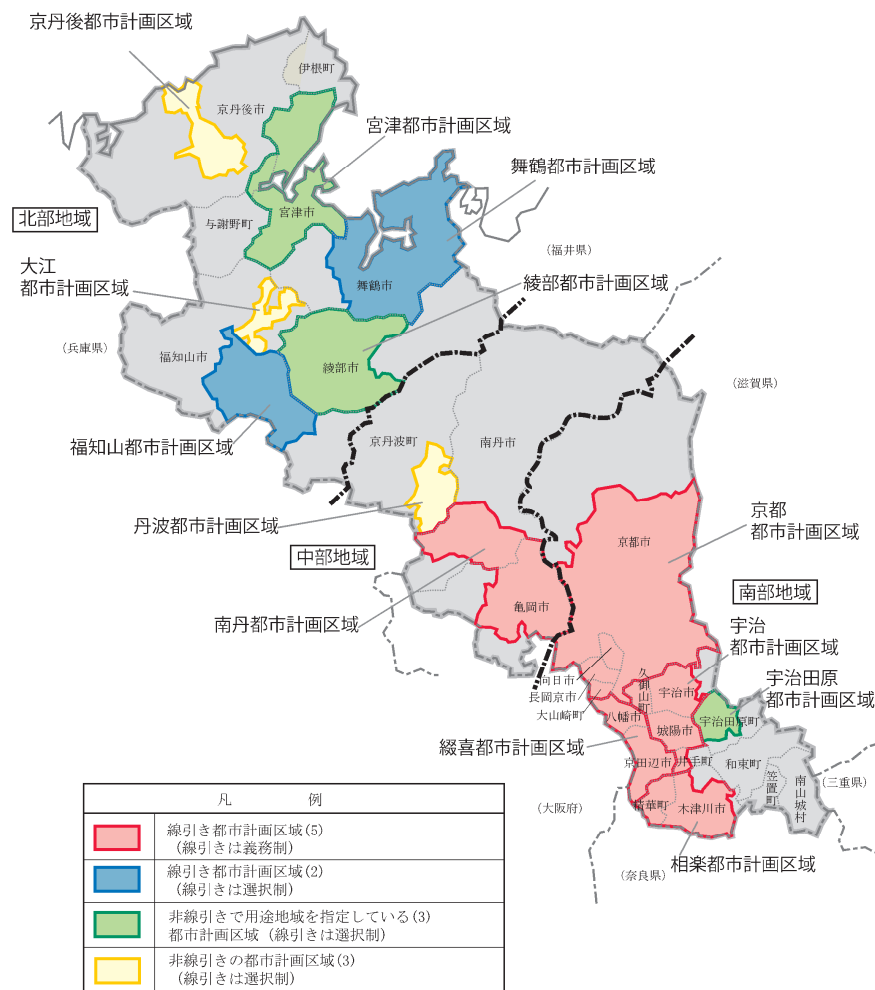


図 京都府の都市計画区域の指定状況
(平成28年5月現在)

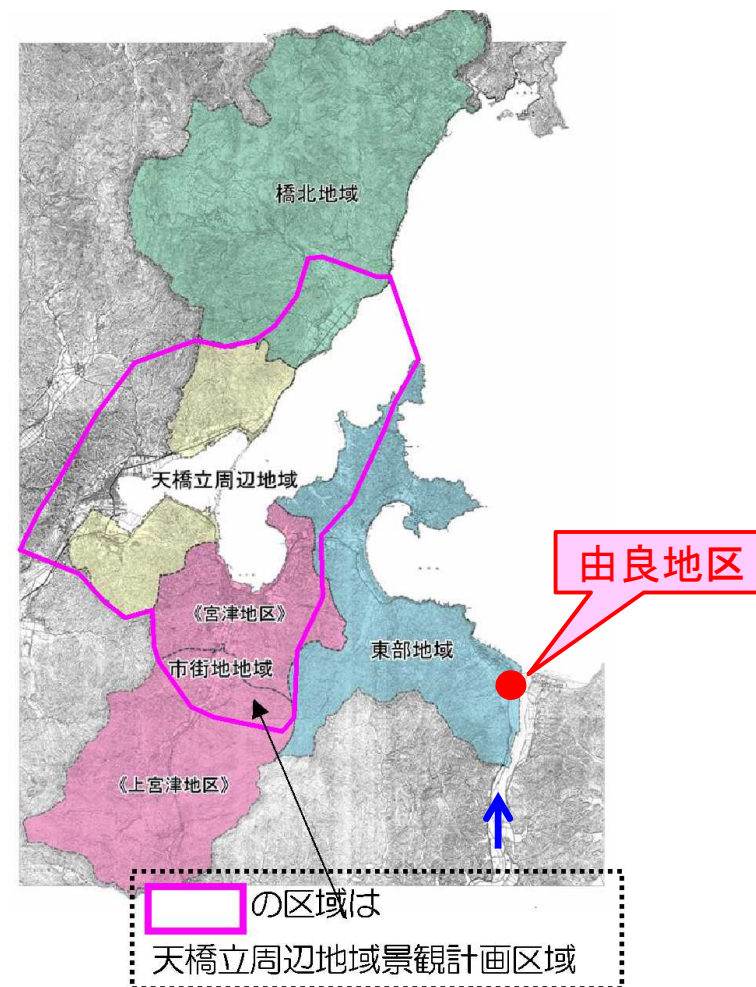


図 宮津市都市計画の地域区分

2.由良地区の概要(国定公園)

○由良地区は、丹後天橋立大江山国定公園における行為の規制区域として第2種特別地域に指定されている。

■第1種特別地域

現在の景観を極力維持する必要のある地域

■第2種特別地域

農林漁業活動について調整を図ることが必要な地域

■第3種地区別地域

通常の農林漁業活動については原則容認する地域

■普通地域

特別地域の景観維持のための緩衝地帯として必要な地域

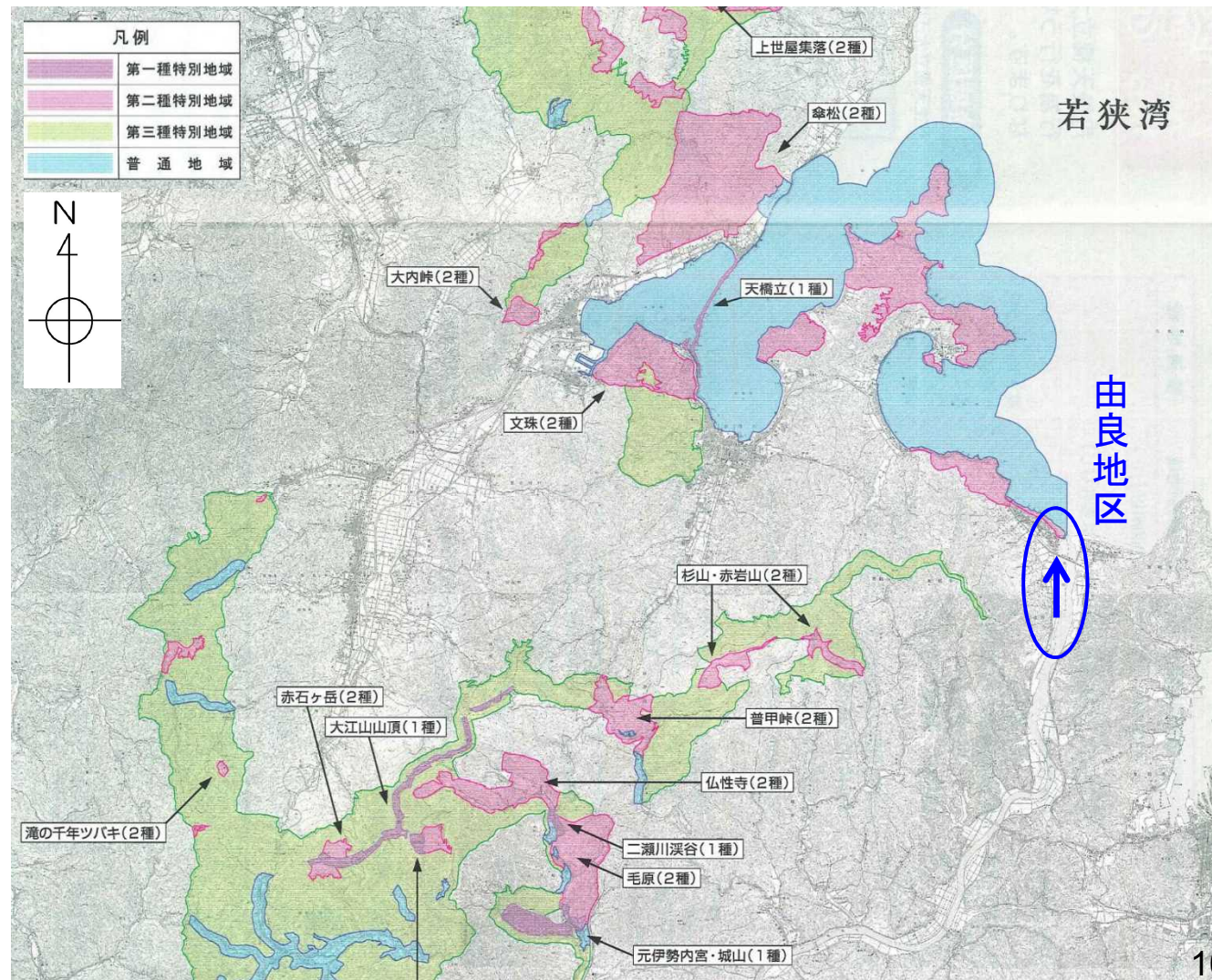


図 丹後天橋立大江山国定公園区域図

2.由良地区の概要

- 左岸0.2k付近には稲荷神社が位置する。
- 由良地区は北近畿タンゴ鉄道（KTR）が横断し、景観を形成している。



写真 稲荷神社



写真 河岸下流側より望む由良川橋梁

2.由良地区の概要



河岸侵食防止として 根固工を整備

稲荷神社

河岸部を船着場として利用



由良川橋梁が横断している



由良川水位観測所



支川が合流している



周辺には農道が整備されている

2.由良地区の概要

- 河川の利用施設として舟着場が整備されており、根固めブロックより栈橋が整備されている。
- 国道178号からの進入口も確保されている。



舟着場（河岸部）

0/0



舟着場（陸部）



係留用施設
消波ブロック



階段整備



進入口①



進入口②



進入口③



図 由良地区 舟付場整備状況

2.由良地区の概要

- 国道178号沿いには電柱、ガードレール、道路標識が整備されている。
- 田畑沿いには水路が整備され、国道178号を横断している箇所が存在する。



電柱・ガードレール・道路標識 等



用排水路



国道178号横断水路

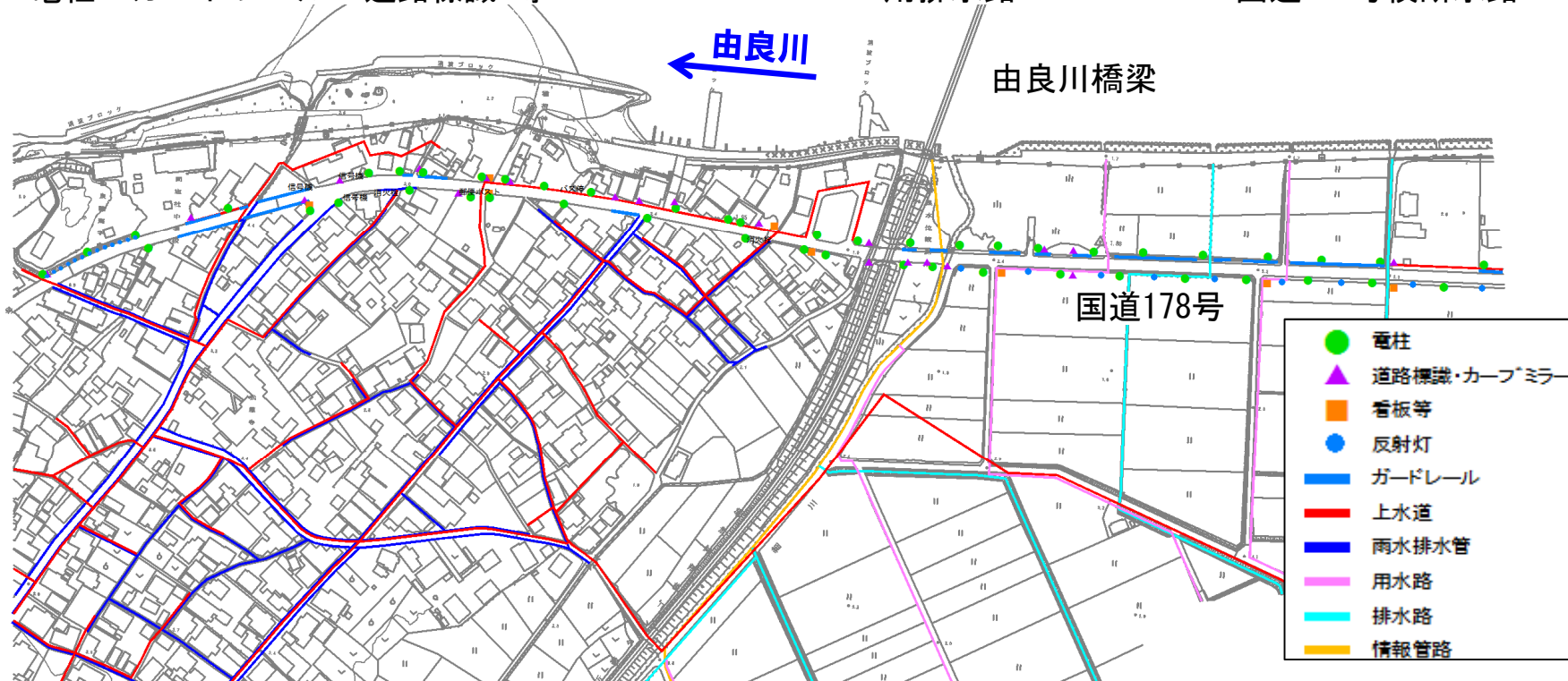


図 由良地区の道路・占用施設